



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラン：ガソリン割当制度

(7月5-10日付現地報道)

1. アフマディネジャード大統領の発言(9日)
  - (1) 敵はガソリンを用いてイランを脅そうとしている。ガソリンの使用は適切に行われるべきであり、ガソリン消費削減の為に公共交通機関の改善が必要である。ガソリンの大量輸入は、密輸、過大な消費、不必要な旅行等多くの問題を発生させる。
  - (2) 我々は割当量を超えるガソリンの販売には同意しない。ガソリン消費の節約により政府は年間約1,000kmの鉄道を建設することが可能となるであろう。
  - (3) 現況下で、割当量を超えるガソリンの価格設定は経済に有害である。本制度は、1日当たり少なくとも1千億リアル、1年で40兆リアル以上の節約となるであろう。
2. ハッタードアーデル国会議長の発言(4日)

割当量を上回るガソリンの販売は優先的課題ではない。燃料消費の管理を勧めるのは、ガソリン消費節約の意味においてである。現時点で国会、政府及びテヘラン市は、公共交通機関改善の為に協力する責任があり、バス、タクシー、地下鉄車両の台数を増加させるべきである。国民と政府の協力により、本制度が現時点まで適切に実施されていることに満足している。本制度は社会に前向きな結果を生み出すだろう。
3. タフマーセビ鉦工業相の発言(8日付報道)

ガソリン対応エンジンのみを搭載した自動車の生産は今後約2週間で停止され、23日以降に生産される全ての自動車は、二つの燃料(注:ガソリン及びCNGのハイブリット)対応のエンジンを搭載することになる。同日以前に市場に供給された自動車も段階的に二つの燃料に対応したシステムに変換されていくだろう。
4. カーゼミ燃料最適化機構総裁の発言(8日)

2008年3月までに国内で千ヶ所のCNGスタンドが開業するだろう。現在は212ヶ所である。自動車をガス燃料対応にするプロセスは進んでおり、CNG対応自動車は325万台程度まで増加すると予測されている。現在、国内企業が生産可能なCNGタンクは年間4万基のみであることから、約100万基のタンクを中国、韓国、中央アジア、南米及び欧州諸国から輸入しなければならない。
5. ガニミファルド・イラン国営石油会社(NIOC)国際局長の発言(7日)

本制度がガソリン輸入の見直しに繋がることを望んでいる。日量3千万リットルの輸入は8月初めまで継続される。仮にイランが同制度開始以前と同量を輸入した場合、既に予算上承認されている約25億ドルに加えて約45億ドルが今年度末(2008年3月)までに必要となるだろう。本制度がガソリン輸入減少にどの程度貢献するか不明な為、減少量は当初の1ヶ月では明確にならないであろう。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799